

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生徒指導課

担当名: 総務・登校支援・中退防止担当

内線: 6906

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B32	地域の多様な人材との連携による高校生自立支援事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	非行防止対策費			
事業期間	平成29年度～ 令和 4年度	根拠法	令				宣言項目	06 次代を担う人財育成	SDGsゴール	4	
							分野施策	030625 様々な課題を抱える子供たちへの支援	SDGsターゲット	4-5	
1 事業概要				5 事業説明							
<p>中途退学者等の多くは、コミュニケーション能力や家庭等に課題を抱えており、自立が出来ていない。このような自立が出来ていない若者が、高校を中途退学することは、社会的な孤立につながる。結果、貧困の連鎖につながるなど課題も多い。そこで、学校と自立支援機関のネットワークを構築し、社会参画・就労を見据えた自立支援指導等を行うことにより、在学中から社会性の育成を図り、就労意欲を醸成し、中途退学の防止へつなげるものである。あわせてやむを得ず中途退学した者についても、フォローアップ出来る体制を整えるものである。</p> <p>(1) 自立支援機関と連携した居場所づくり △1,027千円</p>				<p>(1) 事業内容 ア 自立支援機関と連携した居場所づくり 29,303千円 「地域若者サポートステーション」と連携し、多様な経歴を持つ方の力により、1年生を対象に個人指導や社会的自立を促す取組などの各種事業を行い、生徒の自立に必要な社会性や実践的能力を育成する。あわせて、事業を通じて当該機関と学校・生徒の関係性を構築し、学校はもとより、中退や卒業後無業者となった若者の居場所となる。</p> <p>(2) 事業計画 ア 生徒の特性把握 個人の抱える課題にきめ細かく対応するために、面談指導等を実施し、生徒の特性を把握する。 イ ソーシャルスキルトレーニング コミュニケーション能力の向上を図り、学校生活への意欲を向上させる。(年3回) ウ 体験活動 社会参画に対する興味・関心・意欲の向上を図るために実施する。(定時制:年1日) エ 中途退学に関する相談会の開催 中途退学を考えている生徒又は中途退学してしまった生徒とその家族等を対象に年2回実施する。</p> <p>(3) 事業効果 ア 自立に必要な能力を身に付け、中途退学の防止につなげる。(学校での居場所づくり) イ 地域若者サポートステーションとの連携事業を実施することにより、若者の対人スキル等を育てることが出来る。 ウ 中途退学又は高卒無職後、自立支援機関に円滑につながることが出来る。(中退後の居場所づくり)</p> <p>(4) 補正予算の概要 事業費が見込みを下回ったことによる減額</p>							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円											
				財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額	
予算額											
決定額	△1,027									△1,027	28,276
現計額	29,303									29,303	